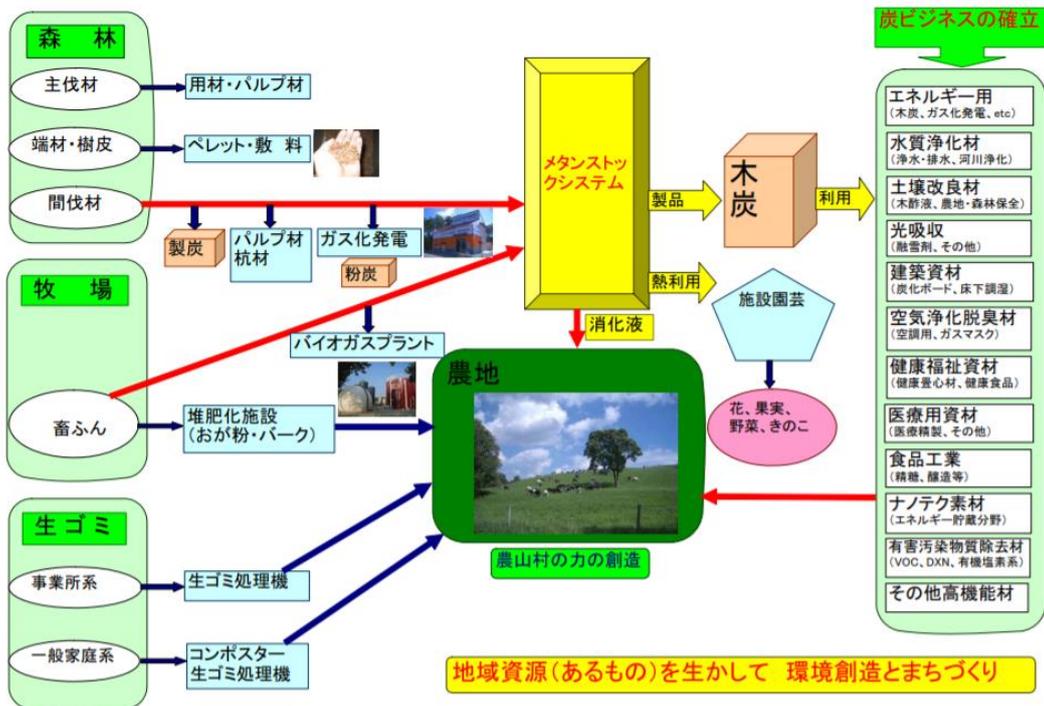


岩手県葛巻町

住所	〒028-5495 岩手県岩手郡葛巻町葛巻第16地割1-1
町長	鈴木 重男 バイオマス産業都市推進協議会 バイオガス部会運営幹事
HP	https://www.town.kuzumaki.iwate.jp/
バイオマス産業都市 選定年度	バイオマス産業都市推進協議会 会員 2008年 バイオマスタウン構想策定
バイオマス産業都市構想	https://www.jora.jp/wp-content/uploads/2021/02/01_tokati.pdf
担当部署	農林環境エネルギー課
連絡先 TEL	0195-66-2111(144)
連絡先 FAX	0195-66-4329

葛巻町バイオマス利活用フロー図



事業化プロジェクトの概要

名称	葛巻町畜ふんバイオガスプラント	
実施主体	葛巻町	
使用する技術	生物酸化脱硫方式	
実施体制	プラントメーカー	株式会社協和エクシオ
	設計・施工業者	株式会社協和エクシオ
概要 (計画)	バイオマス原料	家畜糞尿、生ごみ
	原料処理量(t/年)	家畜糞尿：4,745 t、生ごみ：365 t
	原料投入量(t/年)	家畜糞尿：4,745 t、生ごみ：365 t
	生産物	メタンガス、バイオ液肥
	発電の場合は発電量(kwh/年)	182,500 k Wh
	FITの適用	<input type="checkbox"/> FIT適用 <input checked="" type="checkbox"/> FIT対象外
	堆肥化の場合は製造量(t/年)	730 t
	副産物（液肥等）生産量(t/年)	3,285 t



くずまき高原牧場バイオガスプラント



バイオガスホルダー（左）発酵槽（右）



バイオ液肥貯留槽



バイオガスプラント内固液分離装置



バイオガスプラント内生ゴミペーストタンク

バイオマス事業の進捗状況

事業化プロジェクト	進捗状況
葛巻町畜ふんバイオガスプラント	2003年6月から稼働 2002年からは、町内一般家庭、事業所の生ごみも投入

Q4. イニシャルコストとランニングコスト

イニシャルコスト (千円)

事業化プロジェクト	1葛巻町畜ふんバイオガスプラント
建設費・設備費等	224,700千円

ランニングコスト (千円/年)

事業化プロジェクト	葛巻町畜ふんバイオガスプラント
人件費	8,500,000円
原料等購入費	0円
ユーティリティ費	1,000,000円
修繕費	3,700,000円

事業の経営状況

事業化プロジェクト	計画との進捗比較※	事業実施による効果 (地域波及効果の発現状況)
		効果
葛巻町畜ふんバイオガスプラント	b ほぼ計画通り	視察者が訪れる 牧場内畜ふんの適正処理
プロジェクト	b ほぼ計画通り	

※a)計画以上に進捗している b)ほぼ計画通り c)計画より遅れている d)進んでいない

成功要因

事業化プロジェクト	成功要因
葛巻町畜ふんバイオガスプラント	<p>他の地域よりも早くから、バイオマスの資源循環利用に着目。酪農が盛んな地域の課題である、「臭いの問題」、「メタンガス排出」等を解決し、酪農の新たな魅力創造のために導入。取り組みは、多くの方々から注目され、バイオマスの循環利用の知見を広めることができた。</p> <p>また、2012年からは生ごみの収集もしており、燃えるゴミの削減（30%の削減）に成功した。</p>

波及効果（雇用増加、CO2削減効果等）

事業化プロジェクト	成功要因
葛巻町畜ふんバイオガスプラント	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ収集による、ごみ焼却施設の延命化。 ・資源の循環利用 ・家畜排泄物の適正処理による環境保全 ・メタンガスのエネルギーの利用(CO2排出削減効果)